

平成28年度第5回鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会
福祉サービス部会会議録

日 時 平成29年2月9日（木）午後2時00分～午後3時15分

場 所 鎌ヶ谷市総合福祉保健センター4階研修室

出 席 松村幸江部会長、山根清孝副部会長、柳生操部会員、小宮裕子部会員、
飯高優子部会員、入野美弥子部会員、佐藤弘江委員、木藤直美部会員、

欠 席 平野明美部会員、山澤光史部会員、櫻井朱実部会員、田辺佳子委員、
伊藤英史部会員（鎌ヶ谷市障がい福祉課主査）

事務局 （障がい福祉課） 齊藤実障がい福祉課長、藤嶋晶子課長補佐、
中村浩主任主事

（もくせい園） 三浦幸嗣

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 0名

添付資料

- ・式次第
- ・学校を核とした県内1000カ所ミニ集会
【テーマ】福祉避難所のあり方と地域の連携（防災教育）
- ・鎌ヶ谷市基幹相談支援センターと地域生活支援拠点等整備事業についての資料

<本日の傍聴人及び会議の出席状況について>

事務局より、欠席者について、出席者数が会議開催の定足数である過半数を満たしていること及び傍聴者が0名であることを報告した。

<事務局より資料の説明>

本日の資料の中に、「学校を核とした県内1000カ所ミニ集会【テーマ】福祉避難所のあり方と地域の連携（防災教育）」というものがあるが、これは平野部会員（つくし特別支援学校選出）から情報提供されたもので、先般、つくし特別支援学校において、松戸市の防災担当者を招いて福祉避難所についての講演を行った際の記録である。当部会で協議している、「災害時」というテーマを考えるうえでの参考になると思うので配付した。

1 議題

部会長

今年度（平成28年度）は、「災害時の障がい者への対応及び事業者間の連携について」1年間検討を行ってきた。第2回、第3回と災害発生時の各事業所での取り組みについて意見交換を行い、前回の第4回では、災害発生後の事業再開に向けて検討を行った。そのなかで事業の早期再開のためには「場所、人材、送迎」が必要であること、これらを融通するためにも事業者間の連携が必要になるというところまで話は進んだ。

事業者間の連携の第一歩としてSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等を利用した「連絡体制」を整えてはどうかという意見があり、次回までにどういった形での「連絡体制」の構築がいいのか検討し提案するということで議論は終わっていたと思う。

（1）連絡体制について

部会長

まずは、比較的安全で運用しやすいメーリングリストを福祉サービス部会内で作成し、運用してみることで問題点等の洗い出しを行い、その問題点を整理したうえで、協議会に働きかけて最終的に全市的な連絡体制を目指したいと考えている。

副部会長

メーリングリストを使って連携を図っていくというところから始めたいと思うがいかがか。

部会長

前回いちばん問題になったのは、管理者とセキュリティの問題だったと思うが、その点はどのようにするのか。

副部会長

SNSだと、管理やセキュリティの問題が出てくるが、メーリングリストなので、メール本文に個人情報を入れないなどという基本的なことさえ行えば、全体を管理する必要もそこまでないだろうし、公開されているアドレスであれば、セキュリティの問題もそこまでではないと思う。

部会員

緊急時には事業所のアドレスより、個人のアドレスの方が有効だと思う。登録するアドレスは、個人のアドレスでもよいのか。

事務局

あくまで試行なので、個人のアドレスでも、事業所のアドレスでも、両方登録しても良いのではないか。

部会員

メーリングリストの利用は、緊急時に限られるのか。

部会員

緊急時にしか送られてこないとか、かえって見落とす可能性があるのではないか。事業所で出店するバザーのお知らせなど、普段から使えるようにしてはどうか。

事務局

部会内の試行段階で、いろいろな情報を流してみても、こんな頻度で送られてくるのは困るとか、本当に緊急のメールなら件名に何かサインをつけましょうとか、使ってみて問題を洗い出そうというのが、今回の試行の目的なので、今の段階で情報発信の可能性を排除する必要はないのではないか。

部会員

事業所間の連携は、お互いの情報交換がないとできないので、自分の事業所の情報を周りに伝えることは必要だと思う。今回のメーリングリストでの情報発信は、受け手が有益だと判断すれば、バザーのお知らせなどであってもよいと思う。そうしたやり取りの中で、事業所間が仲良くなっていくことが、災害時、緊急時に役立つのだと思う。まずはやってみて改善していくことが必要ではないか。

事務局

メーリングリストへの登録は、事業所内で検討しなければいけないと思うので、登録を希望する事業所は、平成29年2月28日（火）までに障がい福祉課宛てにメールをいただきたい。可能であれば、登録後メーリングリストで積極的に情報交換していただき、次回（平成29年度第1回会議）は、早速メーリングリストの問題点を探っていければベストだと思う。当然、メーリングリストに登録しなかった方も、議論に参加できるように資料を整えていきたい。

(2) 鎌ヶ谷市基幹相談支援センターと地域生活支援拠点等整備事業についての報告

事務局より平成29年度中に鎌ヶ谷市基幹相談支援センターを開所する予定であること及び地域生活支援拠点等整備事業も検討中であることについて、資料を基に報告した。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成29年3月24日

氏名 岩田 友理子

氏名 菅谷 幸乃